



TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB



Weekly Report

「楽しもうロータリー！ファインコミュニケーションで」

東京六本木ロータリークラブ会長

令和4年9月12日発行 第722号

2022・2023年度 No.8

本日のプログラム

令和4年9月12日

卓話『人文情報学時代の多言語化』

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 アソシエイトフェロー

呉 修喆様

場所:グランドハイアット東京

2002年9月 - 2006年7月 (中国) 華東師範大学外国語学部日本語学科
2006年9月 - 2010年1月 (中国) 復旦大学中文系文芸学専攻修士課程 (2008年4月 - 2009年3月 國學院大学文学研究科伝承文学コース交換留学)
2010年4月 - 2012年3月 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程 (2011年4月 - 2012年3月 ロータリー米山記念奨学生)
2012年4月 - 2017年10月 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程 (2014年4月 - 2016年3月 日本学術振興会特別研究員DC2)
2018年4月 - 2020年8月 帝京科学大学非常勤講師 (中国語)
2020年9月 - 現在 一般行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 企画調整部 文化財情報研究室 アソシエイトフェロー (多言語化担当)

クラブからのお知らせ

令和4年9月5日

会長挨拶

9月第1回目の例会です。本日は、例会前に第2回クラブ協議会が開催されました。渡辺美智子ガバナー補佐と鈴木聡子グループ幹事にご参加を頂き、我が六本木ロータリークラブの現況や活動方針を各委員長からお話しさせて頂きました。渡辺ガバナー補佐から最後にフィードバックも頂き、私どもの活動が確実に前に進んでいることを確信し、元気を頂きました。

本日は渡辺ガバナー補佐の卓話もございます。楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。



(記:今村会長)

幹事報告

本日の幹事報告は1つです。

1. 本日、例会後に第3回理事会がございます。理事会構成メンバーの方は2階ドローイングルームにお集まりください。

(記:谷口幹事)

各委員会報告

社会奉仕委員会報告

9月のクリーンアップは、「六本木アートナイトスペシャル2022」として地元清掃活動団体「六本木をきれいにする会」との合同イベントとなります。

3年ぶりに開催されるアートイベント「六本木アートナイト」最終日に開催されます。

土曜日ではなく、9月19日（月・祝）となりますのでご注意ください。

また集合場所も東京ミッドタウンとなります。お間違いないように。

ご参加いただける方は、専用HPからお願いします。

(記:堀井社会奉仕委員長)

ロータリー財団委員会報告

本年度も前年度同様に一人当たり年次基金150USD以上及びポリオプラスへの寄付30USD以上が求められておりますので、会員の皆さまそれぞれに合計26,000円以上のご協力をお願いしたところ、ほとんどの会員の方からご支援いただくことが出来ました。

当クラブでは年会費のお振り込みの願いと同じタイミングで年次基金他の依頼書をお送りしているため、ご協力してくださる方が多いと感じています。

(記:三田ロータリー財団委員長)

ロータリー情報委員会報告

ロータリーの友は来年1月で創刊70周年を迎えます

その第1回目の特集として7ページから1950～60年代にかけて掲載されています

24ページでは東京六本木ロータリークラブで卓話をして頂きました千玄室様のインタビュー記事がございます

46ページには今後のRI国際大会のスケジュール2023年5月27日～31日オーストラリアメルボルン2024年6月8日～12日シンガポール2025年6月21日～25日カナダカルガリーの予定が掲載されています

また野生型ポリオウイルスによる症例数としてパキスタン12、アフガニスタン1、モザンビーク1世界合計14となっています

その他のページも是非ご一読ください

(記:片岡ロータリー情報委員長)

卓話『日本のロータリー100年、そして未来へ』

令和4年9月5日

RI第2750地区 山の手東G ガバナー補佐 渡辺 美智子様

皆さん、こんにちは！

ご紹介を頂きました、本年度・山の手東グループガバナー補佐を務めております、渡辺美智子でございます。本日は、例会に先立ちまして、クラブ協議会を開催頂きました。本年度のクラブ運営につきまし、活発にご発言を頂きました。しっかりガバナーにご報告をさせていただきます。ご出席を頂きました、会長幹事さんをはじめとする、クラブ役員の皆様に厚く御礼を申し上げます。



ロータリー歴を、画面に記載させていただきました。

2004年、東京六本木ロータリークラブへ、チャーターメンバーとして入会致しました。クラブでは、クラブ幹事を務めた後、17-18猿渡年度で、クラブ会長を務めました。地区へは、12-13年度、佐久間年度で初めて出向し、水野年度、大槻年度で、地区研修委員を経験し、浅田ガバナー年度でも、お手伝いをさせていただきました。昨年度は、ロータリーファミリー支援委員会で、初めて、青少年の様々なプログラムに係り、ロータリーファミリーの優秀さに大変、感動、致しました。

職業ですが、レストランを7店舗運営しておりますが、代表店舗が、こちらになります。どちらの店舗も皆様には、大変お世話になっております。ありがとうございます。上段2店舗、表参道と箱根仙石原が自社物件で、下段の2店舗が、歴史的建造物として行政が持っております建物をPFIにて、借受けて、建物を維持管理しながら、事業展開をしております。

ロータリーの話に戻ります。私達の地区は、日本のロータリー中で、リーディング地区といわれております、その中でも特に山の手東グループは、多様性に富んだ素晴らしいクラブの集まりです、2750地区の中心的なグループではないでしょうか。歴代、素晴らしい指導力を備えたガバナー補佐の方々にご活躍頂きましたが、本年の私のスタンスと致しましては、11クラブ会長さんたちの応援団、相談相手、として、後方よりバックアップが出来れば、そんな気持ちで努めて参りたいと思っております。改めまして、宜しくお願い致します。

本日は、2020年に、100周年記念事業として制作しました、「日本のロータリー100年の歩み そして未来へ」を改めて、見て頂こうと思い、持ってまいりました。私も、制作班の一人として加わりまして、日本全国に渡る「写真集め」を担当致しました、思い入れのあるビデオとなりましたが、その後、あまり日の目を見ず、制作者の一人として、是非、皆様に見て頂きたいと思い、用意いたしました。どうぞご覧ください。

ビデオ、いかがでしたでしょうか？

たった4人から始まったこの活動が、これほどまでに、世界中に浸透し、このような大きな組織になることを、ポールハリスは想像できていたのでしょうか？ハリスは、1915年の「ロータリー誌2」でこう述べています。1905年ロータリーを創設して10年後のコメントです。

「今から、100年後のロータリーはどうなっているのでしょうか？生きている人には想像もつきません。現在のロータリアンにとって不可能はないのです私は、ロータリーは生き続けると信じています。生きているなら発展するでしょう」そして、日本のロータリー100年、そして、次の100年に向けて歩み始めました。同じように私達も、100年後は想像できませんが、ハリスが言うように、不可能はないのです

今を生きている私たちの、着実な一歩が、100年後につながると確信を致します

ロータリーは、次なる100年間を目指して、新たなビジョンを策定致しました。長期展望の立った、方向性を示す、新たなビジョンです。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って。行動する世を目指しています。」またビジョンを達成するために2019年から5年間の活動を方向付ける、4つの戦略的優先事項が、示されました。

- 1.より大きなインパクトをもたらす
- 2.参加者の基盤を広げる
- 3.参加者の積極的な関りを促す
- 4.適応力を高める

ロータリーの創設者たちが推進してきた、ロータリーの中核的価値、ロータリーの目的、四つのテストは、ロータリアンの根幹をなす原則です。変えてはならない、そういった価値観に、新しいビジョンや行動計画が加わりました。私たちは、過去を振り返り、尊重しながら、未来に進んでいかなければならないと思います。

ジェニファー・ジョーンズ2022-23年度RI会長は、カナダ・オンタリオ州、ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ所属、1996年の入会です。ラジオ・テレビ番組や、企業の動画などを制作する会社を経営しております。夫のニック氏も、ロータリアン、第6400地区のガバナーノミニーです。ジェニファー・ジョーンズRI会長が、示した本年度のテーマは、「イマジン・ロータリー」です。

ジョン・レノンの1970年の作品、「Imagine」の一節を書かせていただきました。ジョーンズRI会長は、こう呼びかけています

私達は、皆夢があります。そして、その夢のために、行動するかどうか決めるのも、私達です。ロータリーが、ポリの根絶や、平和の実現と言った大きな夢を頂くなら、それを実現させる責任は、私たちにあります。ポリオのない世界を想像してください。みんなが安全な水を使える世界を想像してください。疾病のない世界、そしてすべての子どもが読むことのできる世界を想像してください。やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。

だからこそ「イマジン・ロータリー」が、テーマとなります。

11月17日（金）私たちの合同例会にお迎えいたします。どんなお話が聞けるか、楽しみにいたしましょう。

2020年9月ロータリーは、DEIタスクフォースを設置致しました。

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、「行動する世界」というビジョンの実現には、「多様性があり、公平で、インクルーシブ（包括的）」な文化を担うことが不可欠であると言っております。この、「多様性、公平さ、インクルージョンの原則」が、ロータリーのあらゆる活動に根付くよう期待をされております。これは、新しい取り組みの様に聞こえるかもしれませんが、新しい考え方ではありません。第24回1933年のボストン国際大会で、ポールハリスは、こう述べています。「ロータリーの会員は、人生のあらゆる段階（職業や地位）にある人、すべての国、すべての宗教の人たちに開かれています。ここにこそ、ロータリーの特性と栄光があるのです。と述べております

そして、本年度、2750地区は、富澤為一ガバナーが、就任されました。

丁度、今年で70歳、「古希」をお迎えになりますロータリーへのかかわりは、19歳の時に入会されたローターアクトの活動から始まります。そして1993年、41歳で、東京品川ロータリークラブへ入会されました。「ロータリーを広げよう」本年度の地区のスローガンです。

三大研修の冊子に、ガバナーはこう書いておられます。

日本のロータリークラブは、100年の歴史を刻んできました。先人たちの素晴らしい発想と友情と繋がり、次々と社会に良い変化をもたらし、世界に貢献してまいりました。しかし、残念ながら、ここ数年、会員の減少に歯止めがかかりません。クラブが5年後、10年後でも、生き生きと元気で活動し続けるには、新しい仲間を増やすことが不可欠です。それぞれのクラブが、将来どんなクラブになりたいのか、そのための「戦略計画」が重要である。そしてそれに基づいて、クラブ全員で実行することが大切だと、言っておられますガバナー公式訪問で、直接、お話を伺えればと思います。

3年に渡るコロナの影響で、ロータリー活動は思うようにいきませんでした、しかしこれを停滞ではなくロータリーにとって新しい世界を切り開くチャンスと捉えて活動しようでは、ありませんか。

大戦下の日本のリーダーたちの、それでもロータリーを続けてきた、たくましい歴史があります。七曜倶楽部の時も、多くの会員離れがあったにも関わらず、その「ともしび」は、消されることなく、存続させることで、RI復帰に繋がっています。この逆境にひるむことなく、次の100年に向けての絶好の機会と捉えましょう。ロータリークラブは地域社会にとって、かけがえのない大切な存在だと思います。

最後に、ポールハリスは、1935年、こう言いました。

「世界は絶えず変化しています、そして私たちは、世界と共に、変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は、何度も、何度も、書き換えられなければならないでしょう」

ご清聴、ありがとうございました

ニコニコBOX情報

浅田 豊久さん

山の手東グループ担当ガバナー補佐渡辺さんガンバッテ！

池田 泰義さん

渡辺ガバナー補佐、本日の卓話たのしみにしております。よろしくお願い致します。

今村 道子さん

渡辺ガバナー補佐、本日は卓話楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

岩崎 博充さん

今日は友人をつれてきました

門田 真乍子さん

渡辺美智子様、ガバナー補佐の卓話楽しみにして居ります。私ごと1ヶ月前右手首骨折から本日復帰いたしました。

柏原 玲子さん

渡辺ガバナー補佐、本日の卓話楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

大橋 裕治さん

渡辺ガバナー補佐、本日の卓話どうぞよろしくお願い申し上げます。

齋藤 明子さん

渡辺ガバナー補佐・鈴木グループ幹事一年間よろしくお願いいたします。

渡辺 美智子さん

六本木ロータリークラブの皆様、本日は、宜しくお願い申し上げます。

安井 悦子さん

渡辺美智子ガバナー補佐、本日の卓話を楽しみにしておりました。六本木の全メンバーが応援していますよ

安井 秀行さん

だんだん秋の気配を感じてきました。渡辺ガバナー補佐、本日の卓話を楽しみにしております。

9月5日 合計 32,000円 累計 243,500円

9月5日のお食事



9月5日の例会出席率(暫定)

- 会員の例会出席数(出席率) 36名(71%)
- ゲスト・ビジターの参加者数 1名

※メーカーキャップを含めていない暫定の人数です。

次回のプログラム

令和4年9月26日

卓話『アフガニスタン：タリバン制圧から一年と今後』

同志社大学客員教授 元国連事務総長特別代表 山本 忠通様

場所:グランドハイアット東京